
偏見と自立 木村花さん の悲劇から

• 2020年7月4日 未来ネット・松戸

今後の予定

次回の学習会 テーマ シェアハウスと自立 ハウジングファーストから始まる新生活

7月25日土曜日 13:15~15:45 松戸市民会館302号室

ネットとの接続を続けながら市民センターでの実施を開始します。

マスク着用、間隔を開けた対話、アルコール消毒液の持参等**COVID-19**感染対策を実施。

また、一時間に**15分**程度、換気します。

→その他にも「これは必要なのでは」と思うものがあれば、対応します。

事件の経緯

出来事

◎女子プロレスラーの木村花さん(22)が2019年9月から『テラスハウス』出演。
→天真爛漫でストレートな物言いをする性格だった。出演時の言動などをめぐりSNS上で誹謗中傷を受けていた。

誹謗中傷が悪化

木村さんは入居してすぐにバスケットボール選手の田渡凌さん(26)にひと目惚れ。不器用ながらもアタックするが失恋。その後、田渡さんは「バスケットボールに専念したい」と誰とも付き合うことなく卒業。
→スタンドアップコメディアンを目指す小林快さん(26)と付き合うことになったが、互いの置かれている状況から意識がずれ始めて失恋。
→木村さんのコスチュームをうっかり小林さんが洗濯してしまった際の対応等から、ネットの誹謗中傷の書き込みが悪化。

自殺・その前後の動き

5月23日

◎木村さんのSNSにリストカット画像や「さよなら」という言葉が出てくる。

→2020年5月23日未明、連絡が取れないことを不審に思った母で元プロレスラーの響子さんが江東区の自宅マンションを訪ねたところ、ベッドに心肺停止の状態で倒れているのを発見。午前3時過ぎに病院へ救急搬送されたが、死亡が確認された。自宅リビングに手書きの遺書と見られるものが見つかったことや硫化水素を発生させたとみられる薬剤の容器が見つかったことからほぼ自殺。

その後の対応

→23日夕方、番組側はホームページにお悔やみのコメントを掲載するとともに、配信予定だった木村さん出演の43週、44週を休止。5月27日に「TERRACE HOUSE TOKYO 2019—2020」の制作中止が発表された。

→総務省 匿名発信者の特定を容易にするなどの制度改正を含めた対応をスピード感を持って実施する意向。

フジテレビの責任・SNSの責任

フジテレビ

◎2008年にフジテレビ系恋愛バラエティ番組「あいのり」に出演していたプロレスラーの崔領二(39、プロレス団体「ランズエンド」代表) ブログにてバラエティー番組を痛烈に批判。◎要約します。

テレビ出演がきっかけで新団体設立に必要なスポンサーを得られた反面、「テレビのパンダでいてくれたらテレビにとって好都合」「身内の嫉妬や誹謗中傷もつきもので、日本のテレビ番組は欲望を満たし無茶をさせて面白さとインパクトだけを強調して放送する」「一生懸命頑張っている人間を笑い者にするのは卑怯だ。恥を知れ」

SNSの責任

5月26日 LINEやTwitterなどのSNS事業者でつくるソーシャルメディア利用環境整備機構は緊急の声明を発表し、SNS上での嫌がらせや名誉毀損などを禁止事項として利用規約に明記し、こうした行為を把握した場合、利用停止などの措置を徹底するとした。法律に基づき情報を開示するよう求められた場合、適切な範囲で必要な情報を提供する。機構は特別委員会を設立して、さらに対策を検討するとしている。

◎実態はレイシストによる違法なヘイトスピーチが放置されている。そのため、Twitter日本本社前でカウンターによる抗議デモが度々起きている。

リアリティ番組の大本・アメリカのケース

殺人事件

- 1995年 TVショー「*The Jenny Jones Show*」(スタジオに招かれた視聴者に秘密のゲストが秘密を告白する番組)でゲストのAに対して、“秘密のゲスト”として登場したBがAに性的な好意を抱いていると告白
→その3日後、Bの告白に侮辱されたと感じたAは、Bを殺害。

判決と民事訴訟

A 第2級殺人罪が適用され、25年から最高で50年までの懲役刑の判決を受けた。
→Bの遺族は、番組プロデューサーの責任を追究。Aの精神疾患と薬物乱用の経歴を考えれば、番組の演出が彼の自尊心を傷つける事は予想できたとして、7000万ドル余(=約70億円)をもとめて提訴。
→第一審において陪審員は、番組側の責任を認め、番組プロデューサーに対して、遺族に2933万ドル(=約27億円)超を支払うよう命じた
→第二審 番組には「スタジオを出てから3日後にAが殺人行為を犯す事を予測する義務も、これを防ぐ義務も存在しない」として、番組側の責任を否定した。

リアリティ番組の大本・アメリカのケース(2)

今回のケースでは

田畑淳弁護士による調査

→今回の事件についてフジテレビについて番組が煽ることによってSNSで誹謗中傷がなされることまでは予想できる流れだったとしても、今明らかになっている事実を前提とする限り、やはり殆どの人にとって、それがゆえに木村さんが命を落とすという結果は、想定の外を超えていたと思われる。

◎木村さんの死に対して、番組側の法的責任を問うことは難しくとも、放送事業者として、また出演者に対して圧倒的な力を持つ事業者として問われるべき道義的責任はあるのでは？

弁護士が解説 木村花さん死去、テラ八番組側に法的責任は問えるのか？ 2020年6月6日 17時0分 文春オンライン

類似ケース

・2014年、男女がほぼ裸でさまざまなアクティビティをこなし、恋愛感情を確かめ合うリアリティショー「デイトング・ネイキッド」において、出演者であるCは、彼女の局部が無修正で放送されたとして、1000万ドル(=約11億円)の賠償を求めて番組側を提訴(原告の敗訴が確定)。

・出演者が太った恋愛相手を求める様子を追うリアリティショー「チャビー(ぼっちゃり、程度の意味)・チェイサー」において、出演者のDとルームメイトのEが詐欺、契約違反を主張し、MTVと番組プロデューサーに対して250万ドル(=約2億7000万円)を求めて提訴(原告の敗訴が確定)。著名ラッパーのザ・ゲームがリアリティショー内で女性への性的暴行をしたとして710万ドル(=約7億円)の賠償を命じられたケース、キャスティングに人種的な偏りがあるとして争いになったケースなど

差別につながったケース

軽井沢編では

◎元FC琉球・ジムトレーナーやスポーツメーカー「sfida」の広告キャラクター等で活動している福田愛大さんがYoutubeチャンネルで語ったこと

「テラスハウスに出演してみると、SNSで誹謗中傷の言葉……自分がハーフブラックだったのでいろんな書き込みがあり、自分は何も感じないと思っていたんですけど、見ちゃうとすごい傷つく。こんな俺でもすごい1日が嫌な1日になる」

◎「気持ち悪い」「うざい」「死ね」などのコメントが1投稿に700件届く日もあったと告白。「大変だった。小さい頃に受けていた人種差別を思い出して、すごい悲しい気持ちになった日もありました。なんも気にしない人でも、いざ来るとめっちゃめっちゃ嫌な気持ちになる」

テラハ元出演者・福田愛大、誹謗中傷コメント1投稿700件の過去「傷ついた」2020/06/12 04:00 マイナビニュース

原因

・作り手と受け手の意識にも問題がある

◎受け手のファクトチェックが甘い!

実体験があまりにもない、ネット依存、情報がネットですぐに入るので万能に思えてくる危険性
→ネットでのデマにありがち

別のケース 福島県立大野病院医療過誤事件での被害者遺族への誹謗中傷

■明らかに無理な医療行為に走り、業務上過失致死傷罪に問われた産婦人科医を寄ってたかって擁護して、被害者遺族への誹謗中傷に終始する医療従事者

→それに乗っかってまともな確認を怠るプログラマーの責任

書き込んだサイドの心理にも問題がある

6月4日のNHKクローズアップ現代「ネットの誹謗中傷 なくすために 女子プロレスラーの死」より

◎病気が理由で大学を辞めた20代の男性

◎「俺たちは足元でギャーギャー騒いでるくらいの気分、正直。でも当人からしたら、そんなことなかったんだなって。」

→番組で映し出された木村さんの言動に憤りを感じ、自分のSNS上に“まだこいついんのかよ！”と書き込み

その時の心情「『早く出て行って欲しいな』とか『うぜえな』と書いている人は ほかにもいたので、それに自分も同調するような感じで、『誰かと話したい』みたいな気持ち。自分の好きなもの、きれいなものを見せることで共通の話題が出来るじゃないですか。」

嫌がらせ投稿をした理由

投稿のきっかけ 番組の中で木村さんが出演者の一人に対し、「人生をなめている」と発言し、問い詰めるシーンを見た後

→20代の男性はコメディアンになる夢に向かってもがいている出演者に感情移入していた。「情けない気持ちというのは自分も持っていて、『情けないな』と思いながら生きている。それを、自分より圧倒的に立場が上でうまくいっている人に『なめているのか』と言われる事はバカにされた感覚。『夢もって頑張っている奴を、ある程度成功している人がバカにするなよ』と思う。その声を届けたほうがいいって思う。正義感ですよ、いらぬ。」

→木村さんの自死後、初めて、自分のことばにも責任があると感じた「どこに加害者がいるんだ、自分じゃないかと思った。自分も群衆の中のひとり、少なからず。同じ方向を向いて歩いていたので、俺の言葉は誰かを傷つけるんだと、みんな思っていないといけななと思って。」

書き込んだサイドの心理にも問題がある

6月4日のNHKクローズアップ現代「ネットの誹謗中傷 なくすために 女子プロレスラーの死」より

◎もうひとりの男性と傍観者

◎木村さんの行動に対して「見ていてイライラする」と投稿した男性 “ああいう言動や行動を見せられてこちらも不愉快な気持ちになったので、傷つく傷つかないは関係なくとりあえず自分の思いを言いたかったです。自分の意見をとにかく言いたかっただけなので。叩かれているのは知らなかったです。”

→何もできなかった20代女性 「擁護する方もすぐ多かったけど、擁護されている方に対して、さらに非難の声を浴びせるとか、そういったことが多くて、そこに巻き込まれたくないというか、ただ見ているだけになってしまったというか。何もできずに終わってしまったというのがあります。」

リツイートの責任

■被害はリツイートで拡大する

漫画家・はすみとしこ被告による誹謗中傷の被害を受けたジャーナリスト・伊藤詩織女史(ジャーナリスト・山口敬之被告による婦女暴行被害を受けながら起訴されず、民事訴訟で完全勝訴した)の代理人を務める山口元一弁護士の喩(たと)え

RTされた方は、気楽な気持ちでスマートフォンやパソコンをいじっているのかも知れませんが、法律上は、道で誹謗中傷のビラを拾って、それを数百部、数千部とコピーし、各家庭に配って歩くのと同じことをされています。

書き込んだサイドの心理にも問題がある

6月4日のNHKクローズアップ現代「ネットの誹謗中傷 なくすために 女子プロレスラーの死」より

◎原因分析

◎なぜこういうことになるのか

ことばには2つの意味がある 言葉と言刃

→言葉は事実にもとづき、相手の人格や変えられない属性への攻撃をしないからこそ成り立つ。

→言刃はそれとは大きくかけ離れているのではないか

顔と顔が見えないがために相手の置かれている状況を読めずに軽い気持ちで言ってしまう危険性

→この罫は誰もが陥りやすい!!

SNSルールの不徹底

◎サイエンスライターの片瀬久美子さん 自身のSNSで政府の説明責任への考えを投稿→200以上のアカウントから誹謗中傷された。

→片瀬さん「気味悪かったですね。不気味さ、何でもこんなことを書いてくるんだろう。えたいの知れなさ。」

■投稿の削除をツイッター社に依頼したが、攻撃的な行為を禁止する規定には違反しないとして、削除されなかった。人物特定(裁判所を通じて、ツイッター社などにIPアドレスの開示を請求する他、携帯電話会社やプロバイダーに裁判を起こすか、警察の協力が必要。裁判費用は100万円以上かかることも)1年後埼玉県に住む60代の男性が数百のSNSアカウントを保持し、別々の人物を装って誹謗中傷を繰り返していた。損害賠償を求めた民事裁判では260万円の支払いと謝罪を求める片瀬さんの勝訴となったが、犯人は未だに謝罪せず、「悪気はなかった。遊びだった」と暴言。

片瀬さん「結局、犯人と私とを比べてみると、犯人は無傷なんですよ。犯人は今も普通に暮らしているんですよ。何ら罰せられることもなく、謝罪文も書かず。これって、このままでいいのかな。」

書き込んだサイドの心理にも問題がある

6月4日のNHKクローズアップ現代「ネットの誹謗中傷 なくすために 女子プロレスラーの死」より

◎韓国の場合

◎2019年 人気タレント、ソルリさんと、親友でKARAの元メンバー、ク・ハラさんがSNS上の誹謗中傷に悩み自殺。

→国会では悪質な書き込みを抑止するための法案が発議。すべての書き込みについて、投稿者のIDやパソコンのIPアドレスといった個人の特定につながる情報を最初からすべて公開。誰が書き込んだのかを追跡しやすくする。

■その反面、カチョン(嘉泉)大学法学部 チェ・ギョンジン(崔景津)教授「名誉棄損となる悪質な書き込みと、健全な批判の境目があいまいなのです。違法な中傷をする1人を捕まえたいがために、無数の人の表現の自由に制約が生じるのは望ましくありません。」

積極的な法的措置の駆使

◎誹謗中傷に対抗するため、法的措置を積極的にとる動きも。

■10の芸能事務所と契約を結ぶ法律事務所シンウォン キム・ナラ弁護士「芸能事務所から送られてきたPDFファイルです。ファンたちが自主的に証拠を収集するチームを作っています。我々も強硬な対応をとっています。」
→訴訟で重要となる証拠集めにファンが支援する。

一例 ある女性歌手は、わいせつな書き込みをした人たちを刑事告訴。侮辱・名誉毀損罪で有罪となった場合、被告にはおよそ9万円の罰金が命じられる。

キム弁護士「決して黙認せず、積極的に争う姿勢を示すことで、悪質な書き込みをする人たちが慎重になったと感じます。」

改善方法

ReThink

SNS上の誹謗中傷を少なくするためのアメリカ産のアプリ、
『ReThink』(「考えなおす」)

<http://www.rethinkwords.com/>

トリーシャ・プラブさん (Trisha Prabhu) という、当時13歳の少女が考案。

<https://wired.jp/2017/09/20/wrd-idntty-trisha/> 開発のきっかけ 2013年、レベッカ・セドウィックさん(11)が1年半も15人の同級生(ちなみに悪質な2人は逮捕されている)から誹謗中傷を受けて飛び降り自殺に追い込まれた事件の再発防止 SNSなどで何かを投稿する直前に、その内容に「人を傷つける可能性のある言葉」が含まれていた場合、「本当に送りますか?」と、再考を促す。『ReThink』を使用した若者たちの93%が、それにより投稿内容を再考したとのこと。

→もし、このソフトが日本でも普及していれば今回のような事件は減るのではないか。対応OSはiPhone、Android(WindowsやLinux、Chromeにも対応する必要がある)。

取手市の場合

「チャレンジの広場」で障害当事者主体のレクリエーションが行われている

→リアルでの交流があることは大切。

→課題はレクリエーションに終わっていて、そこから社会にどう参画して、どう変えていくかという視点が欠けている。

◎とりで障害者協働支援ネットワークがスポンサー。

最後に

「困った」「苦しい」「痛い」が言葉にできる場所が今後も必要。
...私達はそうした場所でありたいし、そうなるように努力したい。
そして、その心の思いを支えられる場所に一つでもなりたい...。
対話できる場所をつくるのが、苦しいことを、悲しいことを、一つでも減らせるのではないか。

ご傾聴、ありがとうございました。

次のステップ

課題 1

ここにテキストを挿入

ここにテキストを挿入 ここにテキストを挿入

課題 2

ここにテキストを挿入

課題 3

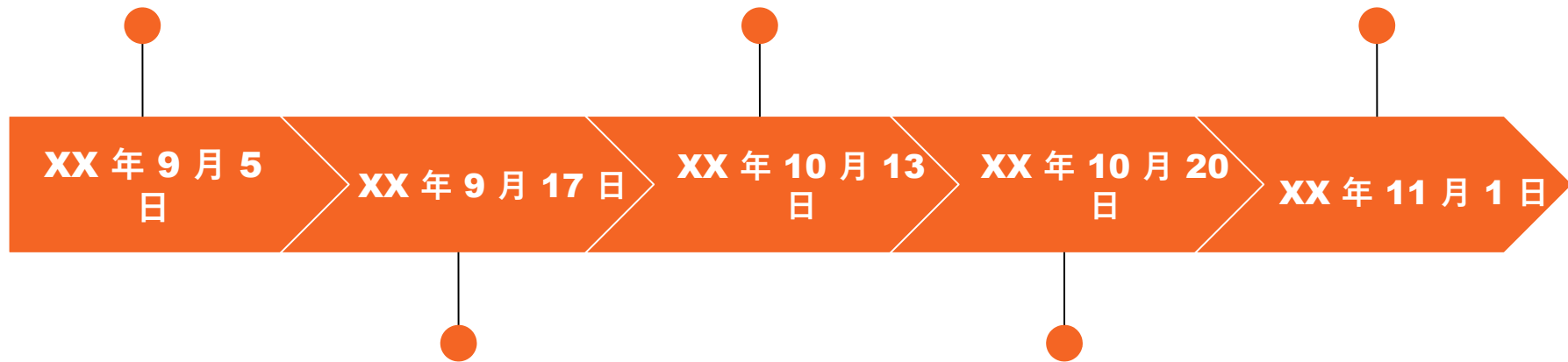
ここにテキストを挿入 ここにテキストを挿入

スケジュール

ここにテキストを挿入 ここ
にテキストを挿入 ここにテ
キストを挿入

ここにテキストを挿入 ここ
にテキストを挿入 ここにテ
キストを挿入

ここにテキストを挿入 ここ
にテキストを挿入 ここにテ
キストを挿入



ここにテキストを挿入 ここ
にテキストを挿入 ここにテ
キストを挿入

ここにテキストを挿入 ここ
にテキストを挿入 ここにテ
キストを挿入

次回会議までの目標

1. ここにテキストを挿入 ここにテキストを挿入
ここにテキストを挿入
2. ここにテキストを挿入 ここにテキストを挿入
ここにテキストを挿入
3. ここにテキストを挿入 ここにテキストを挿入
ここにテキストを挿入
